

施設名またはグループ名 大船フラワーセンター

No.	計画					実施及び分析														
	事業計画（提案内容）					H30	R1	R2	R3	R4	実施内容	H30	R1	R2	R3	R4	自己評価	備考 (次年度に向けて)		
	様式	提案内容																		
5	1-	(2)	イ	1) 県内企業への業務発注を優先 2) 発注先の選定方法	①県内事業者への優先的な業務発注（実施継続） ②直営作業による主要業務の実施（実施継続） ③複数社からの見積もりによる委託先検討とコストダウン（実施継続） ④法定点検や廃棄物処理等の委託にあたっては必要な資格・免許を有する専門家に発注（実施継続） ⑤委託業務の作業進捗・水準の指導・監督・検査（実施継続） ⑥適切な雇用条件・労働環境整備を行っている企業に発注（実施継続） ⑦反社会的勢力への発注防止（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●						
7				2) 執行体制	①スーパーバイザーによる適切な維持管理業務内容、頻度、職員配置計画の立案（実施継続） ②維持管理業務の統括を担うファシリテーターを配置（実施継続） ③造園・土木施工管理経験を持つ園長（責任者）が必要に応じてファシリテーターをサポート（実施継続） ④施設設備に関する異常発生時の対応（実施継続） ⑤清掃、警備等各直営職員の配置（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●						
8				3) 清掃業務	①直営の清掃スタッフが日常清掃を実施（実施継続） ②7:00からの早朝清掃作業を実施（実施継続） ③スタッフバックの携帯（実施継続） ④感染症発生を防止する清掃の実施（実施継続） ⑤高寒期における清掃人員の強化（実施継続） ⑥トイレ清掃を1日2回以上実施（実施継続） ⑦トイレのコートイング清掃を適宜実施（実施継続） ⑧定期清掃を年4回実施（実施継続） ⑨特別清掃を適宜実施 特に汚れのひどい箇所の高圧洗浄（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●						
9				4) 保守点検業務	①法定点検、保守点検等の管理をファシリテーターが実施（実施継続） ②補修改善計画書の提出と対応の協議（実施継続） ③修理対応の履歴蓄積（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●						
10				5) 警備業務	①警備員を24時間常駐で配置（実施継続） ②繁忙期は警備員がフレキシブルに園の運営をサポート（実施継続） ③携帯装備の充実 懐中電灯等（実施継続） ④無線ディテクターを用いたトイレの盗撮・盗聴調査（実施検討中）	●	●	●	●	●		●	●	●						
11				6) 受付業務	①事務スペースをエントランスホールに設置（実施継続） ②エントランススペースを無料休憩スペースとして開放（実施継続） ③発券エリア 自動券売機を設置（実施継続） ④無料入園エリア エントランススペースにキッズスペースを整備（実施継続だが感染防止策として現在閉鎖中） ⑤花苗販売スペースを入園ゲート外側（無料入園エリア）に設置（実施継続） ⑥イベントスペース 入園ゲート外側（無料入園エリア）を活用（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●						
14				ア) 4) 植物を学ぶ・理解する	⑤園芸相談の継続実施（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●						
20				2) 来園者・近隣住民への情報発信：近距離	①ロゴマークの製作（運用中） ②スタッフによる来園者への直接的な情報提供、コミュニケーション（実施継続） ③パンフレット、植物園だより等配布物のデザイン刷新・内容の見直し（実施済 随時更新） ④エントランススペースおよび休憩スペースを活用した情報発信（実施継続） ⑤自治会回覧板、地域情報冊子「広報まぐら」、ケーブルテレビ、地域掲示板の活用（実施継続） ⑥鎌倉市公園協会が管理する公園での情報発信（実施継続） ⑦地域団体・企業との連携による広報PR（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●						
21				イ) 4) 県内への情報発信：中距離	①県の広報誌「風のたより」での情報提供（実施継続） ②共同事業者が管理する県内の指定管理施設での情報提供（実施継続） ③新聞・雑誌、テレビ等県内で発信される情報媒体へのプレスリリース（実施継続） ④相鉄企業グループ会社が運営する県内近隣ホテルでの、観光客をターゲットとする情報提供（実施検討中） ⑤年間80万部発行の相鉄線利用者向け情報誌への情報提供（実施検討中） ⑥共同事業者各社の職員への広報（実施継続） ⑦教育委員会・校長会を通じた団体利用の手引の配布（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●						
22				5) 県外への情報発信：遠距離	①ホームページの新規製作（実施継続運用中） ②SNSの活用（実施継続運用中） ③比谷花壇広報誌からマスメディアへのプレスリリース（随時実施） ④自社ホームページでの紹介やリンクによる広報（実施継続） ⑤無料のイベント情報ホームページやフリーペーパーの活用（随時実施）	●	●	●	●	●		●	●	●						
24				ウ) 2) 手話言語条例への対応	①施設を訪れる前の情報提供における段階での配慮 ・お問合わせへの対応（実施継続） ・Webでの情報提供における配慮（実施継続） ②窓口における対話の段階での配慮 ・タブレット端末を使用した対面型通訳によるスムーズな対話をおもてなし（実施継続） ・筆談器やテキスト選択など複数の対話の選択肢を用意（実施継続） ③講演やイベントにおける対応（検討中） ④職員、県民に対する手話学習の推進 ・朝礼や研修を通じた手話の習得（実施継続） ・県民に対する手話への理解の促進（実施継続）	●	●	●	●	●		●	●	●						

施設名またはグループ名	大船フラワーセンター
-------------	------------

No.	計画					実施及び分析													
	事業計画（提案内容）					H30	R1	R2	R3	R4	実施内容	H30	R1	R2	R3	R4	自己評価	備考 (次年度に向けて)	
	様式	提案内容																	
37		2) 風水害等の被害が生じた場合の対応	①責任者が当日勤務している職員に対して各対応担当を委任（実施継続） ②情報連絡係が緊急連絡体制因にもつき緊急連絡を実施（実施継続） ③救護・避難誘導係が利用者の安全を確保（実施継続） ④応急措置係が災害発生箇所の立入禁止措置、応急措置を実施（実施継続） ⑤共同事業体各社の本部組織が現地管理事務所の対応を支援（実施継続） ⑥緊急対策本部の設置（実施継続） ⑦被害状況の記録保存、目撃者への確認、状況の記録撮影（実施継続） ⑧復旧対応を速やかに実施し、施設を早期供用再開 倒木処理、除雪、排水処理等（実施継続） ⑨被害者のアフターケア（実施継続） ⑩報告書を速やかに提出 ⑪災害・事故・事件の発生情報の蓄積、パトロールマップ、ハザードマップに反映（実施継続）	●	●	●	●	●				●	●	●					
38		3) 園内冠水時の対応	①被害が予想される場合、移動・撤去等対策を行える植物、備品は極力被害防止策を講じる（実施継続） ②冠水発生後は速やかに立入禁止措置を講じる（実施継続） ③被害が沈静化した後、ポンプを用いた排水等実施（実施継続） ④植物に付着した泥等の洗い落とし（実施継続） ⑤直営職員および委託による園内清掃を実施（泥の洗い流し等）（実施継続） ⑥除菌等の処置を実施し、供用再開（実施継続）	●	●	●	●	●				●	●	●					
4- (2)	ア	4) 地震災害発生時の対応	【予防対策】 ①防災訓練を毎年1回以上実施 ②勤務時間に地震が発生した場合の参集訓練を実施 ③近隣教育機関と連携し、防災訓練または救助訓練を実施 ④近隣自治会と連携し、近隣住民参加型の防災訓練を実施 ⑤緊急対策費の確保および地震発生時の速やかな対策費執行 ⑥職員3日分の食料等、災害時備品を災害対策ボックスに備蓄 ⑦災害時マニュアルを地域施設や自治会・町内会を対象に閲覧環境を整備 ⑧震災の規模に応じて参集者を規定 【初動時対応】 ①閉園時に震災が発生した場合 ②閉園時に震災が発生した場合 ③本社組織対応 ④閉園時に震災が発生した場合 ⑤閉園時に震災が発生した場合 ⑥本社組織対応 【緊急時対応】 ①県の行う震災後の対応と連携し、避難者対応を支援 ②近隣避難所に避難者の誘導を開始 ③被災者への情報提供（近隣避難所、物資配給、炊き出し等） ④事業継続計画（BCP）にもとづく施設機能早期復旧 ⑤構成団体各社による現地対策本部の支援 【復旧・復興期対応】 ①県と連携し避難者対応を支援 ②近隣避難所に避難者の誘導を完了 ③被害状況に応じて復旧計画提言書を作成し、県に報告	●	●	●	●	●				●	●	●					
40		5) 不法行為等の未然防止と対応	①施設利用ルールの周知徹底による、不適切な行為の未然防止（実施継続） ②園内巡回時に不法行為の痕跡を発見した場合の対応：フラワーセンター安全管理マップへの情報蓄積（実施継続） ③職員がいる場で不適切な行為が行われた場合の対応（実施継続） ④利用者から寄せられる情報で問題が判明した場合の対応（実施継続） ⑤施設の破損等を伴う不法行為が行われた場合の対応（実施継続）	●	●	●	●	●				●	●	●					
41		1) 救命に係る職員配置・研修	①上級救命講習を責任者及び副責任者が受講（実施継続） ②普通救命講習を全職員が受講（実施継続） ③毎年、防災訓練時に緊急時の対応を確認（実施継続） ④こどもを対象に使用できるAEDの設置（実施継続） ⑤応急処置セットを管理事務所に常備（実施継続） ⑥ボイズンルーバーを管理事務所に常備、また屋外で作業を行う職員は常備（実施継続） ⑦緊急連絡体制因を管理事務所の目立つ位置に掲示（実施継続）	●	●	●	●	●				●	●	●					
42		2) 急病人等が生じた場合の対応	①管理事務所において速やかに急病人の応急手当を実施（実施継続） ②緊急連絡体制因にもつき速やかに関係機関に連絡（実施継続）	●	●	●	●	●				●	●	●					
45		3) 花き愛好者団体の展示会の魅力アップのための具体的な取組み	①貸出備品やPOPの充実（実施継続） ②ディスプレイのアドバイスや相談を受付（実施継続） ③来園者目録の展示を愛好者団体とともに実施（実施継続）	●	●	●	●	●				●	●	●					
5- (1)		4) 菊花展の魅力アップのための具体的な取組み	①より魅力的な展示にするための新たな取組みの提案（実施継続） ②新規客層の集客（実施継続）	●	●	●	●	●				●	●	●					

令和3年度 年間事業計画・実績書（5年間継続して実施する事項）

施設名またはグループ名	大船フラワーセンター
-------------	------------

No.	計画					実施及び分析													
	事業計画（提案内容）					H30	R1	R2	R3	R4	実施内容	H30	R1	R2	R3	R4	自己評価	備考 (次年度に向けて)	
	様式	提案内容																	
58	9-	(2)	1) 環境配慮の考え方 2) 大船フラワーセンターでの環境配慮の取組	2) ①グリーン購入の推進、及び環境に最大限配慮した商品・サービスの購入、再生紙の活用（実施継続） ②ごみの減量化（実施継続） ③有害虫の早期発見・早期対処、及び農業を極力使用しない維持管理（実施継続） ④目標数値を定めた、節水・節電の実施（実施継続） ⑤節電の取り組み（実施継続） ⑥電気料金とのバランス勘案し、環境負荷の少ない発電方法を採用している事業者からの電力購入を検討（実施継続） ⑦過水時の水道栓への節水コマの設置、及び自動水栓への順次変更を検討（実施継続） ⑧発生材の園内活用（実施継続） ⑨環境共生意識の普及啓発を目的に、子どもたちを対象とするクラフトイベントに剪定枝等を活用（実施継続） ⑩管理車両への軽油の給油はS Q(標準品質)マークが掲示されているガソリンスタンドを使用し、不正軽油使用を防止（実施継続） ⑪かながわトラストみどりの財団の取組支援（実施継続）	●	●	●	●	●			●	●	●					
60	9-	(4)	1) 「ともに生きる社会かながわ憲章」を踏まえた団体の考え方 2) 具体的な取組 ～施設設備等、ハード面での合理的配慮の提供～ 3) 具体的な取組 ～サービス提供等、ソフト面での合理的配慮の提供～	2) ①バリアフリー対応工事完了の積極的なPR（実施継続） ②更なる環境整備の実施（実施継続） ③バリアフリーマップの作成（実施継続） ④情報アクセシビリティ向上への配慮（実施継続） ⑤IPやチラシ等発行物における難しい漢字の多用や、読み上げソフト対応を念頭に置いた配慮の実施（実施継続） 3) ①柔軟かつ適切な合理的配慮の提供（実施継続） ②接遇研修における障害者差別解消法等への理解の促進（実施継続） ③筆談、読み上げ対応、手話等による意思表示やコミュニケーションを支援するための人的支援の提供（実施継続） ④NPO島西臨海探検隊や補助犬協会と連携した、障害のある方に配慮したイベントプログラムの開発・提供（準備計画中）	●	●	●	●	●				●	●	●				
61	10-	(2)	1) 個人情報保護の考え方 2) 個人情報の収集、管理方法、管理体制 3) 情報漏洩時の対応 4) 情報公開請求に対する対応	2) ①利用目的と範囲を明確に定め、必要最低限の情報のみ収集（実施継続） ②思想、宗教、人種、民族、本籍地などの機微情報は一切収集しない（実施継続） ③法令規定や本人同意のある場合以外、第三者へ一切情報を提供しない（実施継続） ④情報取扱責任者による取扱管理を実施（実施継続） ・管理責任者を情報取扱責任者に選任 ・情報の取扱者を業務上必要の認められる特定のスタッフのみに限定 ⑤個人情報統括管理表を作成（実施継続） ・統括管理表には、取り扱っている情報の種類、情報取得、管理票、保管場所、保管方法、保管期間を記載 ⑥専門会社によるP Cセキュリティ体制の確立、漏洩防止策を実施（実施継続） ・起動時のパスワード設定や利用者I Dの設定、アクセス権の設定、ウイルス対策ソフトの導入、アクセス記録の保持、ファイヤーウォールの構築等 ⑦個人情報の記載された書類は鍵のかかる明もしくは書庫にて保管（実施継続） ⑧情報を破棄する際、情報の流出に十分留意する（実施継続） ⑨複数を対象に送信する場合はB C Cでの送信を徹底（実施継続） ⑩個人情報保護研修を毎年実施（実施継続） ⑪雇用スタッフ及び協力会社契約時個人情報取扱特記事項の提出を義務化（実施継続） ⑫代表団体日比谷アメニス本社組織が年に一度内部監査を実施（実施継続） ⑬代表団体日比谷アメニスが個人情報漏洩損害保険に加入（実施継続） ⑭プライバシーポリシーを施設H P及び管理事務所受付に明示（実施継続） 3) ⑮情報取扱責任者が直ちに担当課、代表団体日比谷アメニス本社に報告（実施継続） ⑯被害状況（漏洩内容、範囲）を把握（実施継続） ⑰対象者に情報漏洩の内容を連絡し謝罪と状況説明、保険の適用等対応（実施継続） ⑱漏洩した情報を回収し、二次被害を防止（実施継続） ⑲発生原因を調査し経過を把握し、共同事業体と共に随時共有（実施継続） ⑳個人情報取扱に関する調査、改善策の構築、管理体制へフィードバック（実施継続）	●	●	●	●	●				●	●	●				

令和3年度 年間事業計画・実績書（年度ごとに実施を確認する事項）

様式2-②

施設名またはグループ名		大船フラワーセンター							
NO	様式	事業計画（概要内容）	項目	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		初期目標		・適切な業務引継ぎ、職員配置による施設の安定した管理運営体制、手法の確立 ・ユニバース作成等、植栽管理を含む各業務の平準化 ・各愛好者団体（展示関係）、近隣地域を中心とする関係団体との関係構築	・植栽管理を含む各業務の平準化及び改善 ・調整、展示等ユニバース提供安定化 ・愛好者団体等のレベル向上 ・自主事業サービス提供の安定化	・広域委任手法の平準化 ・利用者取向上につながる利用促進サービスの提供 ・植物関係者を通じた国内外関係団体との連携強化	・利用者取向上につながる利用促進サービスの提供 ・地域団体との連携事業推進 ・次期指定管理に向けた課題点抽出及び改善	・次期指定管理に向けた課題点抽出及び改善 ・次期指定管理者への円滑な業務引継ぎ	
3	1- (1)	ア	3) 保有機物の種類別の維持方策による魅力アップの方針考案	b. 個別種の管理方法、スケジュール c. 園内の新ラベルシステム導入、植物分類方法 d. 品種保存の危険分散 e. 樹木医による定期的安全診断	計画	b. 個別種の従来の管理方法の聞き取り、管理スケジュール作り、 c. 有機物のラベルの確認、ラベル落ちなどの対応、新ラベルシステム導入に向けた準備物のリスト整理 d. 品種保存候補植物の洗い出し e. 要診断樹木の洗い出し	b. 個別種の従来の管理スケジュールに沿って管理を行う。改善点は、 c. ラベルシステム導入のため札落ちの無いように仮ラベル整備を継続して進める。 d. 近隣エリアの植物園にて品種保存のための分散栽培を行う。 e. 要診断樹木候補の樹木医による下調査	b. 個別種ごとの管理スケジュールによる管理を継続しつつ、スケジュールの細部修正も行う。 c. ラベルシステム導入を順次進める。 d. 王塚園全体の樹木医の会や当社協力会社の茨木園で苗木の増殖を行い、来園希望者の分譲できる体制にする。 e. 樹木医による定期的な樹木診断により、保有機物の枯れ死等を事前に防ぐとともに、良好な生育状態を維持する。	b. 個別種ごとの管理スケジュールによる管理を継続しつつ、スケジュールの細部修正も行う。 c. ラベルシステム導入を順次進める。 d. 王塚園全体の樹木医の会や当社協力会社の茨木園で苗木の増殖を行い、来園希望者の分譲できる体制にする。 e. 樹木医による定期的な樹木診断により、保有機物の枯れ死等を事前に防ぐとともに、良好な生育状態を維持する。
					実施内容	b. 個別種の管理方法を順より聞き取り管理に反映。 c. 新ラベルシステムに向け、増設、ラベル交換、オーストラリア園の品種チェックと仮ラベルの取付付を実施。 d. 植物園関係者前交換等で開催、分譲、情報交換を実施。 e. 危険樹木の伐倒、伐後を実施。	b. 個別種の管理については従来の管理スケジュールに沿い展示などの考慮し調整を行った。 c. ツバキ園の品種チェックと仮ラベルの整備、静岡の寺院より花バスの根取200株以上を譲渡いただき株の植え付け管理を含め品種の整理を行った。 d. 植物園関係者と協力し種苗交換を行い、品種の充実と保存をおこなった。 e. 大宮の園地土壌などあり、事前に小かり枝、折れ枝などの調査を実施し来園者の安全対策をおこなった。	b. 昨年度静岡の寺院より譲り受けしたバスと芝園の栽培品種と合わせ240株に計11もの展示（7月8月と開花を迎え来園者に喜んでもらった。2月にはすべての株を植え替え、すべての品種を王塚園に集め来園者の理解を得ている。 c. ツバキ園の品種札の劣化が始まり、すべてのラベルの交換350枚の品種札の付け替えをおこなった。D. 王塚園の原木より接ぎ木を取り戻す苗木を作り10枚程度の苗木の一部園内に植えつけた。 e. バラ園の品種の写真をすべて撮影し特撮をつけた一覧できる写真付施し来園者の安全対策をおこなった。	b. 昨年度静岡の寺院より譲り受けしたバスと芝園の栽培品種と合わせ240株に計11もの展示（7月8月と開花を迎え来園者に喜んでもらった。2月にはすべての株を植え替え、すべての品種を王塚園に集め来園者の理解を得ている。 c. ツバキ園の品種札の劣化が始まり、すべてのラベルの交換350枚の品種札の付け替えをおこなった。D. 王塚園の原木より接ぎ木を取り戻す苗木を作り10枚程度の苗木の一部園内に植えつけた。 e. バラ園の品種の写真をすべて撮影し特撮をつけた一覧できる写真付施し来園者の安全対策をおこなった。
					自己評価	S	S	S	
			備考 (次年度に向けて)	引継ぎ資料と現状に乖離が多かったため、洗い出しに時間を要した。継続してリスト整理に取り組む。	引き続き品種の充実、魅力ある植物の充実を図る	引き続き品種の充実、魅力ある植物の充実を図る			
4	1- (2)	ア	1) エリア毎の改善案、植栽案およびフラワーリーの実現 2) 観賞植物の充実 3) 花木・樹木の管理手法 4) 無加温温室内植物の管理と展示 5) バックヤードの活用方法 6) フラワープロデューサーの育成 7) 装飾花壇、新品種見本園の開設 8) 芝生広場の高水準なメンテナンス 9) 魅惑する管理作業 10) 生物多様性保全の推進	計画	1) エリア毎の改善案、今年度植栽見せ方、花の「どきどき」の追加、観賞物の再検討、サインレールの新品種導入と水生植物の展示。 2) ファンクショナルトリム設定シートにバグダーを記入開始 3) 無加温温室内植物の常設性の確認とバックヤードの植物の展示温室への導入 4) バックヤードの植物の種別別 5) バックヤードの植物の種別別 6) 装飾花壇、立体的な見せ方により有効に花を見せる。	1) エリア毎の改善案を継続して進める。 2) ファンクショナルトリム設定シートに基づく樹木管理を進める。 3) 無加温温室植栽管理技術の向上、無加温温室に多内植物の種取とアガベ、アエニ、ハヤシナなどの人気種を栽培展示を行う。都市部子供でも楽しめる展示利用を行う。 4) バックヤードに観賞用アズキアザミをつけて管理基準のとも栽培増殖を実施。状態の良いものは、一般展示とする。 10) 生物多様性の確保として管理に影響のない範囲で林内への発生木の伐倒、伐後の10%焼却化。花水展示の展示再開。	1) エリアごとの改善案を実施状況に合わせて修正しながら継続推進。 2) 観賞植物（マダガスカルアザミ、アガベ、シヤクアゲ）は園内で見つかる時期にはメンテナンスなど種取の管理を行い見本園への導入を行う。 3) ファンクショナルトリムメニューに基づく樹木管理を継続。 4) バックヤード植物の専用展示エリアを無加温温室に作成しバックヤード植物の有効的な見せ方を確立する。バラ園入り口のアズミの児童及び改善 7) 装飾花壇・新品種見本園等	1) エリアごとの改善案・植栽案によるフラワーリーの完成 2) 観賞植物の種別別な種取による「桜の園」の充実と王塚園を広げる活動により名所としての知名度と地位をあげていく 3) 平太園・シヤクアゲ、アガベ、アエニ、アザミなど低木や生垣で囲われているものを剪定し開放感のある場所に変えていく 4) 大船フラワーセンターの「魅惑する」フラワーリーの企画立案・撮影を行う人材として「フラワープロデューサー」を配置	1) エリアごとの改善案・植栽案によるフラワーリーの完成 2) 観賞植物の種別別な種取による「桜の園」の充実と王塚園を広げる活動により名所としての知名度と地位をあげていく 3) 平太園・シヤクアゲ、アガベ、アエニ、アザミなど低木や生垣で囲われているものを剪定し開放感のある場所に変えていく 4) 大船フラワーセンターの「魅惑する」フラワーリーの企画立案・撮影を行う人材として「フラワープロデューサー」を配置
				実施内容	1) 身障者対応としての観園入り口設置、及び案内マップの改善、さらに、来園者ニーズに対応し、レストハウス前のオープン階段を新設計画・設置。グリーンハウスの新たなサインの品種導入と、バラコアポニオバスの導入展示、イベント。 2) 引き続き資料と種取の準備が多かったため、現状把握を行いながらシートでのフォローアップ作成及び記入作業を進めた。 3) 無加温温室における無加温植物の越冬に備え、敷き草、ビニール等で保護しその追加を実施。つぎ、寒さに応じて「観花しにくい植物が観花する事例も確認。 4) バックヤードの整理、充実を図り、植物の状態の良いものから一般展示を開始。 5) バックヤードの整理、充実を図り、植物の状態の良いものから一般展示を開始。 6) 既設の立体花壇に加え、メンテナンスに可動の立体花壇を新設。 10) 在来木質の園内の展示に向けて準備を進め、増殖している。来年度以降、水景展示会実施に向けて準備を進めている。	1) サインボード・ガラスには取り付けに難いまま植物に触ることができるとメンテナンスが難しく設置し体障りを感じた。 2) 土壌の高低差を解消し、水はけを良くし、土壌改良剤を投入し、観賞植物の充実を図った。 3) 芝生による倒木、枝葉の倒木が非常に多く発生し園内でのメンテナンスが難しくなるとともに、土壌改良剤を投入し、観賞植物の充実を図った。 4) グリーンハウスの無加温対策として敷き草やビニールシート内張り、コモによる防寒等の対策を行い、カエシボクの駆除、令和3年4月にはスイカズラの害を確認する事が出来た。 5) バックヤードにて設置している食虫植物を利用して生態ゾオマをグリーンハウスの内に常設しネバナスやサレシエア、モウセンゴケなどの食虫植物の生態を観察するコーナーを作った。	1) エリアごとの改善案を実施状況に合わせて修正しながら継続推進。 2) 観賞植物（マダガスカルアザミ、アガベ、シヤクアゲ）は園内で見つかる時期にはメンテナンスなど種取の管理を行い見本園への導入を行う。 3) ファンクショナルトリムメニューに基づく樹木管理を継続。 4) バックヤード植物の専用展示エリアを無加温温室に作成しバックヤード植物の有効的な見せ方を確立する。バラ園入り口のアズミの児童及び改善 7) 装飾花壇・新品種見本園等	1) エリアごとの改善案・植栽案によるフラワーリーの完成 2) 観賞植物の種別別な種取による「桜の園」の充実と王塚園を広げる活動により名所としての知名度と地位をあげていく 3) 平太園・シヤクアゲ、アガベ、アエニ、アザミなど低木や生垣で囲われているものを剪定し開放感のある場所に変えていく 4) 大船フラワーセンターの「魅惑する」フラワーリーの企画立案・撮影を行う人材として「フラワープロデューサー」を配置	
				自己評価	S	S	S		
			備考 (次年度に向けて)	ファンクショナルトリム設定シートの記入継続。無加温温室における植物の栽培育成技術の移行。	無加温温室における植物育成技術の継続	無加温温室における植物育成技術の継続			
13	3- (1)	ア	2) 目録入園者数	計画	・年間20万人	・年間21万人	・年間23万人	・年間25万人	
				実績値	238,778人 詳細：様式5	168,727人（前年度-70,051人） 詳細：様式5	140,190人（前年度-28,537人） 詳細：様式5		
				自己評価	S	A	A		
			備考 (次年度に向けて)	初年度はリニューアルオープンによる集客が多かった。今後継続して集客できるよう、新たな魅力を発信していく。	コロナ禍の影響もあり、2年目の今年度は前年度リニューアルオープンによる集客は減少したが、魅力ある植物園とイベントの充実を図るとともにSNS活用による情報発信の頻度を高め集客拡大を目指していく。	4月、5月度の休園や緊急事態宣言・まん延防止等重点措置でのイベント・展示会中止などにより来園者を伸ばすことができなかった。園内体験や魅力あるイベント・展示会の開催、広報活動の強化により、集客の拡大を目指すしていく。			
17	3- (1)	ア	5) 植物に専く	計画	・地域ニーズ把握	・事業スキーム検討	・イベント実施	・事業化	
				実施内容	近隣・小中学校へ事業についての説明開始	近隣・小中学校へ事業についての説明開始	近隣・小中学校へ事業についての説明		
				自己評価	A	A	A		
			備考 (次年度に向けて)	引き続き地域のニーズ把握に努め、事業スキームを検討。	多くの小中学校生徒に植物の魅力を知ってもらい、事業スキーム構築を進めていく。	引き続き地域のニーズ把握に努め、事業スキームを検討。			

令和3年度 年間事業計画・実績書（年度ごとに実施を確認する事項）

様式2-②

施設名またはグループ名		大船フラワーセンター											
NO	様式	事業計画（概要内容）	項目	平成30年度		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
17	3- (1) ア5	植物に導く	①観光ツアーの誘致 大船フラワーセンターツアーガイドの製作	計画	・鎌倉市観光協会との協力体制構築	・ツアーガイド(冊子)製作 ・観光協会との協力体制継続	・ツアーガイド(冊子)発行、運用	同左	同左				
				実施内容	観光協会と協力し、当園の駐車場を利用した市内観光ツアーを検討。	引き続き観光協会とのツアーを検討	引き続き観光協会とのツアーを提案						
				自己評価	A	A	A						
				備考 (次年度に向けて)	協力体制を継続	協力体制を継続	協力体制を継続						
44	5- (1)	2) 花き愛好者団体の活動充実 についての具体的な取り組み	計画	・ 展示関連の専任スタッフの配置 ・ 専任スタッフによる各愛好者団体との定期的話し合い、打ち合わせの実施。	・ 新規愛好者団体の展示サポート ・ 愛好者団体展示のレベル向上	・ 花き愛好者団体の活動内容、展示会情報やSNS、HPなど多様な広報ツールを活用し発信。 ・ 花き愛好者団体の新規会員募集のサポート。	・ 花き愛好者団体と協議会を開催	・ 花き愛好者団体と当園によるフェスティバルの開催					
			実施内容	・ グループ協議会 ③新規の花き愛好者団体による展示会やイベントを実施 ④花き愛好者団体の活動内容、展示会情報を発信 ⑤花き愛好者団体の新規会員募集をサポート	・ 専任スタッフの配置 ・ 専任スタッフによる、話し合い、打ち合わせを実施。	好評の「バラ展示会」「サクラソウ展」「えびね展」の継続と新規団体の展示を実施	好評の「バラ展示会」「サクラソウ展」「えびね展」の継続						
			自己評価	A	A	A							
			備考 (次年度に向けて)	展示団体との細かな打ち合わせを行い、より活動の充実を図る。	展示会情報の発信を多くして、来園者呼びを旨すことと、新規団体の拡大を促していく。	好評の展示会の充実と新規展示会を促していく							
48	5- (2) ア2	企業・団体との連携	計画	①地域連携を担う職員として、副園長、広報・協働マネージャーを配置 ②日本植物園協会、県博物館協会、鎌倉市観光協会への入会 ③市内会、神奈川県商工会議所連合会への入会 ④愛好者団体や地域住民との協議会を実施 ⑤企業との協賛事業や協賛品を、園の運営に活用 ⑥企業とのCSR活動の誘致 ⑦園や地域の事業に積極的に協力、参加 ⑧花菜ガーデンとの連携 ⑨鎌倉商工会議所との連携 ⑩鎌倉市観光協会 ⑪湘南モノレール ⑫入るが、玉縄支店 ⑬アポック社 ⑭日本植物園協会	・ 地域連携担当職員を配置 ・ 日本植物園協会、県博物館協会、鎌倉市観光協会、町内会、神奈川県商工会議所連合会への入会 ・ 地域企業、団体との関係構築	・ 地域連携の継続と強化 ・ 地域企業、団体のニーズ把握 ・ 連携事業実行	同左	同左	同左	同左			
			実施内容	・ 園長、副園長を中心に地域連携を担当 ・ 園長、日本植物園協会常務理事兼任、県博物館協会のイベントへの参加、イベントチラシ各戸配布、連合会への参加等、きめ細かく対応。	・ 園長、副園長を中心に地域連携を担当 ・ 園長、日本植物園協会常務理事兼任、県博物館協会のイベントへの参加、イベントチラシ各戸配布、連合会への参加等、きめ細かく対応。	・ 当園ホームページに湘南モノレール、アポック社との相互リンクを設置 ・ 湘南モノレールの定期券・一日乗り放題券をお持ちの方に対して、カブズにてドリンクのサービスを提供。							
			自己評価	A	A	A							
			備考 (次年度に向けて)	より地域連携を深め、事業に取り組む。	より地域連携を深め、事業に取り組む。	・ 地域企業との継続と強化をしていく。							
49	5- (2) ア3	近隣教育機関との連携	計画	・ 地域教育機関との関係構築 ・ 日本ガーデンデザイン専門学校との連携事業内容検討、実行	・ 団体利用者向け体験学習プログラムの企画、サービス提供 ・ 職場体験・インターンシップ等の受け入れ継続・推進	・ 幼稚園、保育園向け教育プログラムの企画、サービス提供 ・ 日本ガーデンデザイン専門学校との連携拡大 ・ 職場体験・インターンシップ等の受け入れ継続・推進	・ 近隣小学校での出張講座実施						
			実施内容	・ 鎌倉養護学校の児童、生徒の職場体験実施。 ・ 日本ガーデンデザイン専門学校の学生の職場体験実施。 ・ 各大学の学芸員実習、インターンシップを受け入れ。	・ 鎌倉養護学校の児童、生徒の職場体験実施。 ・ 各大学の学芸員実習、インターンシップを受け入れ。	・ 鎌倉養護学校の児童、生徒の職場体験実施。 ・ 各大学の学芸員実習、インターンシップを受け入れ。							
			自己評価	S	S	S							
			備考 (次年度に向けて)	引き続き事業の充実を図る。	引き続き事業の充実を図る。	引き続き事業の充実を図る。							
50	5- (2) ア4	ボランティアの育成	計画	・ ボランティア参加ニーズの把握	・ プレボランティア活動の実施 (1dayボランティア募集、実施) ・ ボランティア分科会の活動内容検討 (植物管理、ガイド等)	・ ボランティア育成講座の実施 ・ ボランティア組織の立ち上げ ・ 鎌倉市のボランティアグループ「緑のレンジャー」の活用を実施	・ ボランティア活動継続支援継続実施 ・ ボランティア活動継続支援継続実施						
			実施内容	大船フラワーセンターサポーター制度をつくり実行活動を開始、次年度から本格活動開始。登録者23名。	○サポーター活動開始 登録者：25名 活動回数：18回、延べ参加人数：176人 除草、花がら撤去、花植え等 ○ボランティア体験会の実施 活動回数：3回、延べ参加人数：158人 除草、花がら撤去、樹名板付け等 ○NPO法人鎌倉みどりのレンジャー 活動回数：3回、延べ参加人数：138人 除草、花がら撤去、樹名板付け等 ※活動中に感染症対策のため活動中止	○サポーター活動 登録者：25名 活動回数：5回、延べ参加人数：57人 除草、花がら撤去、花植え等 ※コロナ感染予防のため18回活動休止 ○NPO法人鎌倉みどりのレンジャー 活動回数：3回、延べ参加人数：138人 除草、花がら撤去、樹名板付け等 ※活動中に感染症対策のため活動中止	同左						
			自己評価	S	S	S							
			備考 (次年度に向けて)	引き続き事業の充実を図る。	新型コロナウイルス感染対応のため、当面活動休止の予定。また、夏の期間は熱中症対策のため活動休止としている。 参加者の安全を第一に事業の充実を図る。	参加者の安全を第一に事業の充実を図る。							

令和3年度 年間事業計画・実績書<イベント・市民協働・自主事業>

施設名(グループ名)		大船フラワーセンター					実施					
		計画										
種別	No.	事業名	概要	形態・継続	予定時期	予定参加人数	備考欄	実施時期	参加人数	実施状況	備考欄	自己評価
展示会	1	「フラワーセンター四季」写真展・春編	国際写真家が選定したフラワーセンター内で撮影された春の写真を中心とした展示会。	継続	4月	FREE						
	2	春の盆栽展	春の芽吹きを感じることができる盆栽展。販売会も併せて開催。	継続	4月	FREE						
	3	フラワーセンター歴史パネル展	フラワーセンターができてから今に至るまでを写真にて紹介するパネル展。	継続	4月・5月	FREE						
	4	サクラソウ展(1)	当園で育てたサクラソウを紹介する展示会。	継続	4月	FREE						
	5	サクラソウ展(2)	江戸時代から武士達の間で栽培されていたともされるサクラソウ。愛好家による展示会と販売会。	継続	4月	FREE						
	6	おしぼ美術展 春編	自然の美しさをありのままの姿で表現できるおしぼ。春の花を中心に展示を実施。	継続	4月・5月	FREE						
	7	えびね展(1)	山の手えびね会による蘭の展示会。	継続	4月	FREE						
	8	えびね展(2)	多彩な色や香りが魅力的なランであるえびねの展示会。ミニ教室や販売会なども実施。	継続	4月	FREE						
	9	色鉛筆植物画展 春	色鉛筆を使って描いた植物画を展示する。	継続	4月・5月	FREE						
	10	ミツバチ展 春編	ミツバチと植物の関係を紹介する。	継続	5月	FREE						
	11	四季の花・風景写真展	四季の花と風景を併せた写真展を開催。	継続	5月	FREE						
	12	サボテン・多肉植物展	若い方から注目度が高いサボテン・多肉植物の展示会を開催。販売会も併せて開催。	継続	5月	FREE						
	13	押花作品展	古くは乾燥材本として活用されていた押花。美しい自然のまま表現できる作品を多数展示。	継続	5月	FREE						
	14	春のバラ展	美しさから多くの人に親しまれるバラ。愛好会による展示会を実施。	継続	5月	FREE						
	15	初夏の盆栽展	日本の伝統である盆栽の展示会の初夏編。	継続	5月	FREE						
	16	花の絵画展	障がい者団体による花を描いた絵画展。	継続	5月	FREE						
	17	日本の自生アジサイ展	日本に自生しているヤマアジサイを中心とした展示会とミニ教室。	継続	5月	FREE						
	18	さつき盆栽展(1)	さつきを対象とした盆栽展。	継続	5月	FREE						
	19	さつき盆栽展(2)	愛好会によるさつき盆栽を対象とした展示会	継続	5月	FREE						
	20	ペゴニア展	人気のペゴニアの展示会。展示会に併せて販売会も実施する。	継続	5月・6月	FREE						
	21	花とみどりの写真展	花とみどりを撮影した写真展。	継続	6月	FREE						
	22	初夏の洋ラン展	大きく美しいものから不思議な形をしたもので、さまざまなランを紹介する展示会。	継続	6月	FREE						
	23	四季の風写真展	デジタルカメラの愛好家による花やみどりをテーマとした写真展。	継続	6月	FREE						
	24	ギボウシ展	人気のギボウシの展示会	継続	6月	FREE						
	25	サボテンミニ展示	人気のサボテンの展示会	継続	6月	FREE						
	26	七夕飾り	来園者参加型の七夕飾り。	継続	6月	FREE						
	27	水生植物展	夏に涼しげな植物の展示会	継続	7月・8月	FREE						
	28	食虫植物展 パート1	珍しい生態の多肉植物とそのしくみを解説を織り交ぜながら展示する。	継続	7月・8月	FREE						
	29	食虫植物展 パート2	愛好家が保持している貴重な食虫植物の展示会。	継続	8月	FREE						
	30	こども絵画展	こどもが描いた植物画の展示会。	継続	7月・8月	FREE						
	31	世界の植物と文化展	世界の植物と文化を紹介する展示会。	継続	8月	FREE						
	32	夜間開園記念展示 夏	夜間開園に併せ、ライトアップなどの特別展示を実施。	継続	7月	FREE						
	33	「フラワーセンター四季」写真展・秋編	国際写真家が選定したフラワーセンター内で撮影された秋の写真を中心とした展示会。	継続	9月	FREE						
	34	おしぼ美術展 秋編	自然の美しさをありのままの姿で表現できるおしぼ。秋の花を中心に作品を展示する。	継続	9月・10月	FREE						
	35	秋の洋ラン展	愛好家が育てたランの展示会。販売会も併せて開催。	継続	9月	FREE						
	36	植物アート展(1)	植物をモチーフとしたアート展示会。	継続	9月	FREE						
	37	植物アート展(2)	植物画を中心としたアート展示会	継続	9月	FREE						
	38	四季の花・風景・写真展	四季の花と風景を併せた写真展を開催。	継続	10月	FREE						
	39	サボテン・多肉植物展	若い方から注目度が高いサボテン・多肉植物の展示会を開催。販売会も併せて実施。	継続	10月	FREE						
	40	おもて展	縁起の良い植物として有名なおもてを集めた展示会。	継続	10月	FREE						
	41	ミツバチ展 秋編	ミツバチと植物のかわりを紹介する展示会	継続	10月	FREE						
	42	菊花大会(切花)	第59回を迎える伝統ある日本の菊栽培の技術向上と普及を図るために開催する切り花の展示会。	継続	10月・11月	FREE						
	43	菊花大会(盆栽)	第59回を迎える伝統ある日本の菊栽培の技術向上と普及を図るために開催する盆栽の展示会。	継続	10月・11月	FREE						
	44	ハロウィーンディスプレイ	ハロウィーンに向けた仮装コーナーや50kgにもなるおぼけカボチャの展示を行う。	継続	10月・11月	FREE						
	45	色鉛筆植物画展 秋	色鉛筆を使って描いた植物画の展示会。	継続	10月・11月	FREE						
	46	夜間開園記念展示 冬	夜間開園にあわせ展示を実施。	新規	11月・12月	FREE						
	47	クリスマス装飾	クリスマスに植物と関連した展示	継続	11月・12月	FREE						
	48	寒蘭展	寒い時期に咲く寒蘭を集めた展示会。	継続	11月	FREE						
	49	植物アート展(1)	植物をモチーフとしたアート展示。	継続	11月	FREE						
	50	植物アート展(2)	植物を題材としたアート展示会	新規	11月	FREE						
	51	パンジー・ビオラ展	人気のパンジー・ビオラを集めた展示会。	継続	12月・1月	FREE						
	52	新春盆栽展	新年にふさわしい華やかな盆栽の展示会。	継続	1月	FREE						
	53	正月装飾	正月を彩る植物の展示会。	継続	1月	FREE						
	54	サボテンミニ展示会	人気のサボテンの展示会	新規	1月	FREE						
	55	カカオミニ展示	カカオがチョコレートになるまでの工程を紹介する。	継続	2月	FREE						
	56	フォトコンテスト作品展示	当園主催のフォトコンテストに参加いただいた作品を展示する。	継続	2月・3月	FREE						
	57	クリスマスローズ展(1)	愛好家によるかわいらしいクリスマスローズを集めた展示会。販売会も併せて開催。	継続	2月	FREE						
	58	クリスマスローズ展(2)	当園で集めたクリスマスローズの展示会。	継続	2月	FREE						
	59	花に魅せられて写真展	フラワーセンターで撮影した花を中心とした写真展。	継続	2月・3月	FREE						
	60	花ざんまい写真展	たくさんの花の写真を集めた展示会。	継続	3月	FREE						
	61	ランキョウ展	花弁が重なった姿が人気なランキョウを集めた当園主催の展示会。	継続	3月	FREE						
	62	サボテン展	人気のサボテンを集めたミニ展示会。	継続	3月	FREE						
	63	植木品評会	植木生産農家による展示会&販売会。	継続	3月	FREE						
	64	春蘭展	春咲きの蘭の展示会。	継続	3月	FREE						
	65	花の絵画展3月	障がい者団体による絵画展	継続	3月	FREE						
	66	花の会写真展	花を自由な写真の撮り方で撮影した写真展。	継続	3月	FREE						
	67	季節の写真展示	写壇大船による季節の写真展示	継続	通年	FREE						
	68	季節の盆栽展示	フラワーセンター固有の盆栽を展示する。	継続	通年	FREE						

5	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	5月	FREE				
6	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	5月	FREE				
7	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	5月	FREE				
8	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	5月	FREE				
9	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	6月	FREE				
10	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	6月	FREE				
11	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	6月	FREE				
12	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	6月	FREE				
13	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	7月	FREE				
14	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	7月	FREE				
15	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	7月	FREE				
16	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	7月	FREE				
17	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	8月	FREE				
18	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	8月	FREE				
19	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	8月	FREE				
20	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	8月	FREE				
21	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	9月	FREE				
22	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	9月	FREE				
23	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	9月	FREE				
24	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	9月	FREE				
25	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	10月	FREE				
26	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	10月	FREE				
27	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	10月	FREE				
28	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	10月	FREE				
29	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	11月	FREE				
30	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	11月	FREE				
31	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	11月	FREE				
32	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	11月	FREE				
33	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	12月	FREE				
34	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	12月	FREE				
35	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	12月	FREE				
36	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	12月	FREE				
37	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	1月	FREE				
38	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	1月	FREE				
39	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	1月	FREE				
40	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	1月	FREE				
41	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	2月	FREE				
42	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	2月	FREE				
43	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	2月	FREE				
44	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	2月	FREE				
45	フラワーコンサート①	植物園で行う季節のコンサート	継続	3月	FREE				
46	フラワーコンサート②	植物園で行う季節のコンサート	継続	3月	FREE				
47	フラワーコンサート③	植物園で行う季節のコンサート	継続	3月	FREE				
48	フラワーコンサート④	植物園で行う季節のコンサート	継続	3月	FREE				
49	フラワーカーニバル ①	ワークショップやコンサートでお客様をお迎えする秋のお祭りイベント。	継続	10月	FREE				
50	フラワーカーニバル ②	ワークショップやコンサートでお客様をお迎えする秋のお祭りイベント。	継続	10月	FREE				
51	ハスの早朝開園	朝に美しい花を咲かせるハスを観賞イベント	継続	7月	FREE				
52	夏の夜間開園	夜にしか咲かない花の観賞イベント	継続	8月	FREE				
53	玉縄桜まつり	玉縄桜を楽しむイベント。	継続	2-3月	FREE				

その他イベント

令和3年度 年間作業実施計画・実績書

様式4

施設名(グループ名)		大船フラワーセンター															
分類	作業の種類		頻度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
展示植物	水生植物管理	植え替え	1回/年	計画 実施													
	水生植物管理	点検・施肥・落葉処理	通年適宜	計画 実施													
展示植物	展示植物管理	剪定・刈込	通年	計画 実施													
	展示植物管理	点検・施肥・殺虫殺菌・灌水・花ガラ取り	通年	計画 実施													
	ラベル管理	ラベル確認・設置	1回/年	計画 実施													
展示温室植物	展示植物管理	剪定・刈込	1回/年	計画 実施													
	展示植物管理	点検・施肥・殺虫殺菌・灌水	通年	計画 実施													
	ラベル管理	点検・ラベル確認・設置	1回/年	計画 実施													
植え替え花壇	花壇植物管理	植え替え	3回/年	計画 実施													
	花壇植物管理	施肥・殺虫殺菌・灌水・花ガラ取り・除草	通年	計画 実施													
バックヤード植物	鉢物管理	植え替え	1回/年	計画 実施													
	鉢物管理	点検・施肥・殺虫殺菌・灌水	通年	計画 実施													
	鉢物管理	ラベル確認・施肥・殺虫殺菌	鉢物管理	計画 実施													

注) 分類や作業の種類、実施時期等を記入すること
 計画は、青、実施は赤で示すこと
 作業内容等で説明を要するものは、備考欄または別紙により説明を記すること